

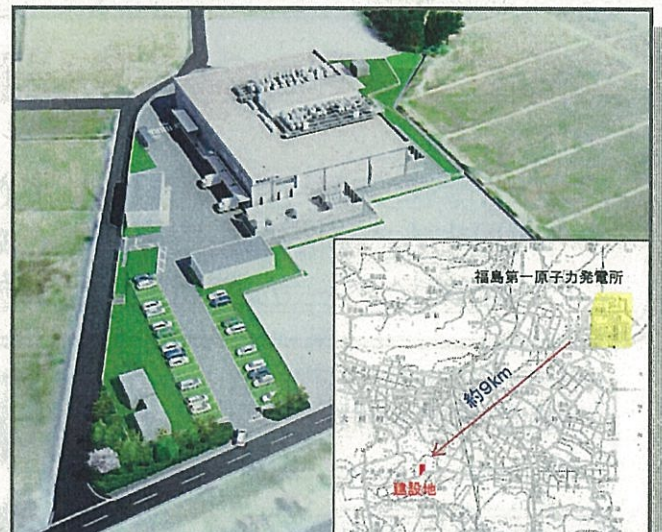
# 福島給食センターについて

2015年5月28日



## ■福島給食センターの概要

建物名称：福島給食センター  
 構造：鉄骨造  
 階数：地上2階  
 敷地面積：9,828.24㎡  
 建築面積：3,256.75㎡  
 延床面積：4,052.64㎡（付属棟含）  
 工期：平成26年5月  
           ～平成27年3月  
 所在地：福島県双葉郡大熊町大字  
           大川原字南平  
 請負会社：前田建設工業(株)  
 運用開始：6月上旬、本格運用開始予定  
           （4月20日以降試験提供開始）



【上：全体イメージ】

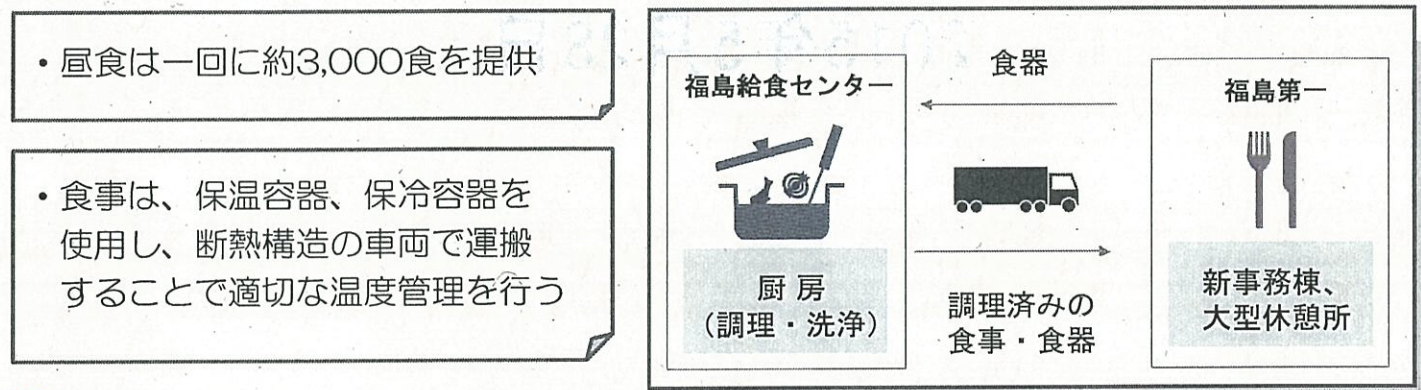
【下：外観写真】

## ■福島給食センターの開所による効果(1)

### ○温かい食事の提供による福島第一の作業環境改善

- 福島第一で働く約7,000人の作業員は、個別に弁当や購入したものを持参している状況。
- 給食センターができることにより、昼・夜、温かい食事を提供できるようになり、労働環境が抜本的に改善する。

【給食センター方式のイメージ】



## ■福島給食センターの開所による効果(2)

### ○給食センターの建設・運営に伴う雇用の創出

- 給食センターの従業員は約100名。
- ほとんどが福島県内出身者。双葉郡内出身者は20名。
- 給食センターの建設に携わった方は延べ約21,500人。

• 衛生管理の徹底

• 良質な作業環境

【職場イメージ】



- 厨房機器には地域の復興と信頼性・実績の観点から、福島県内に工場を持つクリナップ株式会社およびタニコー株式会社の最新のオール電化機器を導入

## ■福島給食センターの開所による効果(3)

### ○福島県産食材の使用・地域雇用による風評被害の払拭

- 原則福島県産の食材を使用。
- 福島県産食材を使った食事の安全性が国内外へ伝わることで、風評被害の払拭に繋がることを期待。
- 給食センター従業員のほとんどは福島県内の方であり、地域の方が安心して働ける場を提供することで、風評被害の払拭に繋がることを期待。

【給食イメージ】

- メニューは定食2種類、麺、丼物、カレーの5種類を予定しているが、多種多様な調理が可能。



## ■福島給食センターの多様な活用

○給食センターの従業員食堂に大型ディスプレイを設置し、廃炉作業の最新状況をお伝えすることを検討中。

▶▶▶ 地域の方に福島第一の状況を理解していただきたい。

○福島第一で作業されている方が実際に給食を食べた感想を、大型ディスプレイで上映することも検討中。

▶▶▶ 給食センター従業員のやりがい向上に繋げたい。

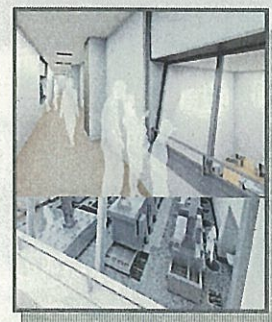
○給食センターに地域の小中学生をご案内することを検討中。

▶▶▶ 地域の子供達に、大熊町で食事を作っているという事実を見学してもらうことで、風評被害の払拭に繋げたい。

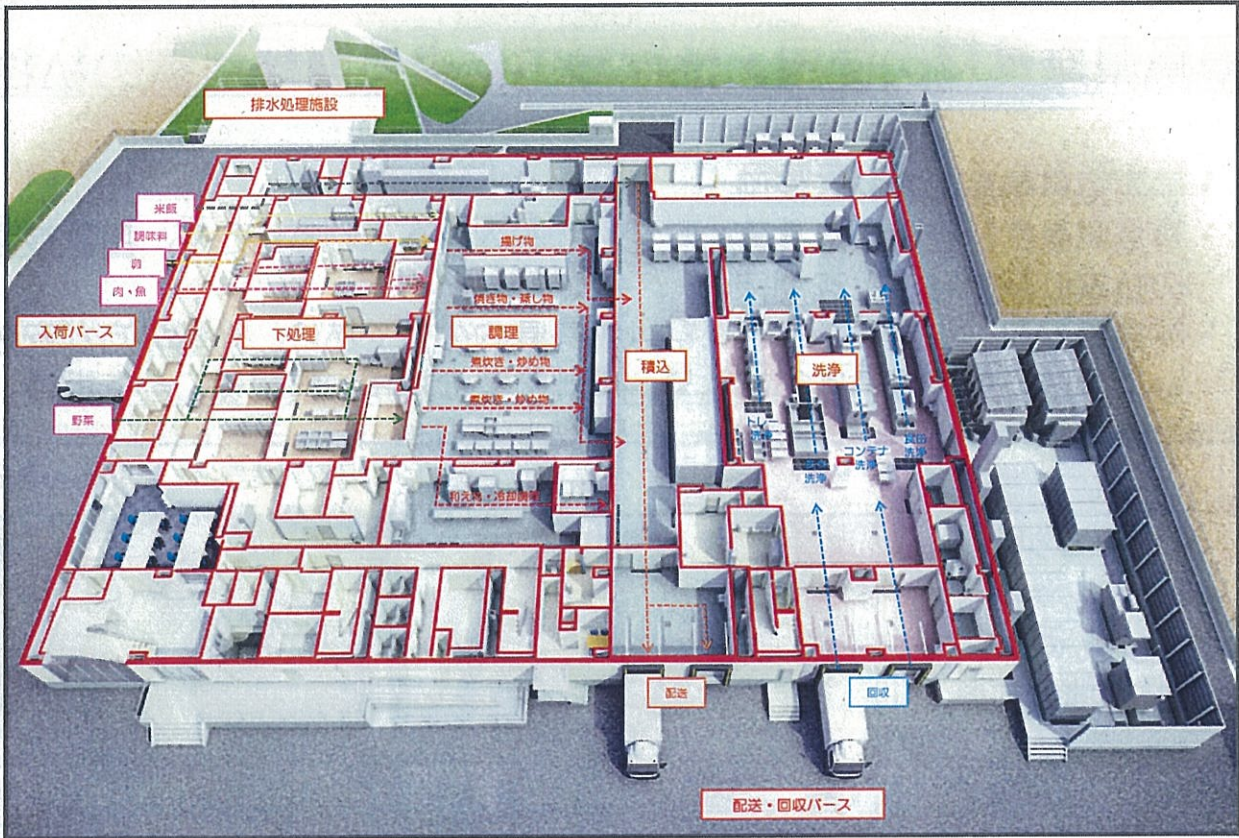
○給食センターの近隣には、野菜工場や太陽光発電施設、協力企業の事務所なども建設される予定。

▶▶▶ 大熊町の復興計画に最大限協力させていただく。

【見学イメージ】



# 参考: 構内図(1)



# 参考: 構内図(2)

